

『岐阜県山間部における災害対策と課題』

安藤大泰

要旨

本研究では、岐阜県内の山間部に点在する集落での災害対策について、この地域の災害に対する脆弱性や課題に着目しながら検討を重ねた。頻発化・激甚化する水害と県内山間部を震源とする地震が懸念される中で、災害事例としては、新潟県の山間部地域に甚大な被害をもたらした新潟中越地震や、県民にとっては記憶に新しい平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨を参考とした。事例研究と岐阜県の現況を併せ、検討した結果、岐阜県の山間部地域においては、災害時に発生する孤立集落と高齢者への支援が特に重要になることが浮き彫りとなった。以上を踏まえた上で、本研究では、孤立集落発生時の情報収集手段の確立や、平常時における高齢者の所在の把握、中長期を見据えた山間部からの撤退などの必要性について提言する。